

忍藩子ども塾素読教室開校式

漢 詩と論語をはつらつと披露

6月4日、郷土博物館講座室で忍藩子ども塾素読教室開校式が行われました。

この教室は、(公財)忍郷友会(松平忠昌会長)が、漢字文化の継承と豊かな言語感覚を養うことを目的として、平成23年度から実施されています。

今年度は17人が新たに仲間入りし、希望に満ちた表情で松平会長からテキストを受け取っていました。また、この日は歓迎行事として塾生による漢詩と論語の素読も披露されました。新入生は上級生のはつらつとした声に圧倒されながらも、真剣なまなざしで発表を見つめていました。



第1回行田市優秀建設工事技術者表彰式

北 小学校トイレ改修工事の優れた技術者を表彰

5月25日、第1回行田市優秀建設工事技術者表彰式が市役所応接室で行われました。

これは、市発注工事を優秀な成績で完成させた技術者を表彰することで、公共工事の品質と適正施工の確保を目的とするものです。今回表彰された小川工業株式会社的小林亮太さんは、北小学校トイレ改修工事において、工事車両の進入を減らし、施工時間を調整するなど、学校運営に支障なく工事を完成させたことが高く評価されました。工藤市長から激励の言葉を受けた小林さんは「表彰に恥じないよう仕事に取り組みます」と抱負を語っていました。



菊苗の無料配布

大 輪の花を楽しみに

6月7日、郷土博物館の玄関前で菊苗の無料配布が行われました。用意された菊苗は厚物、管物が約3,500本。配布開始の午前9時前から多くの人が集まり、長い列をなしていました。来場者は、行田市菊花連絡協議会の会員から手渡しで苗を受け取ると、大切に抱えて会場を後にしました。今回配布された菊苗は、11月上旬頃には大輪の花を咲かせ、庭先を華やかに飾ってくれることでしょう。



大将まつり

盛 りだくさんの内容で忍城城代就任をお祝

6月11日、忍城址東門で「第3回成田長親城代就任426周年記念 大将まつり」が開催されました。

この催しは、天正18年(1590)6月7日に成田長親が忍城城代に就任してから426周年を記念して行われたものです。初お披露目となった新演目「天正十八年夏之舞」では、甲冑隊全員が出演し、力強くも優美な舞を披露。また、愛知県岡崎市で活躍するグレート家康公「葵」武将隊から小松姫がお祝いに駆けつけ、会場は多いに盛り上がりました。



ホテイアオイの投げ込み

た くさん花を咲かせてね

6月8日に、水城公園あおいの池でホテイアオイの投げ込みが行われました。

今年で41回目を迎える毎年恒例の催しに、南小小学校の児童57人が参加。ホテイアオイについての説明を聞いた後、池を囲み、用意された5,000株のホテイアオイを元気いっぱい投げ込みました。ホテイアオイは9月中旬から10月中旬ごろが見頃で、児童たちは薄紫色の花が池を覆う光景を今から楽しみにしているようでした。



第27回行田市一輪車競技大会

バ ランスよく走り抜けて

5月21日、総合公園自由広場で第27回行田市一輪車競技大会が開催され、市内外から82人の小学生が参加しました。

競技はコースに置かれたパイロンをジグザグに走り抜ける30メートルスラローム競走をはじめ、4種目で争われました。器用に一輪車を乗りこなし、上手にバランスを取りながら走り抜ける子供たちに、周囲から熱い声援が飛び交っていました。



第12回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき

足 袋蔵や歴史的な建物で貴重な体験

5月21日・22日の2日間、第12回ぎょうだ蔵めぐりまちあるきが開催されました。

市内に点在する16の足袋蔵や歴史的な建物をスタンプラリー形式で巡るこのイベント。普段は入れない個人の蔵なども公開される貴重な機会とあって、大勢の人出でにぎわいました。牧貞舎で行われた藍染め体験では、参加者が足袋やハンカチなどを染め上げて世界にひとつしかない作品を手にとり満足そうな表情を浮かべていました。



第2回図書館まつり

図書館の新たな一面を発見

5月28日・29日に図書館で第2回図書館まつりが開催されました。

雑誌リサイクルをはじめ、移動図書館「よしきり号」の見学などさまざまな催しで図書館の魅力を発信。なかでも「図書館ぐるっと探検」では、普段は立ち入ることのできない閉架書庫を見学できるとあって多くの人が参加しました。参加者は、職員の解説に耳を傾けながら、普段見ることのできない図書館の一面を知り、より一層関心を高めることができたようでした。

